

子どもたちの豊かな心を育む

小中学校からの 特色ある音楽教育

市長 少子化により全国で子どもの数が減っていますが、本市では特に結城南中学校区の児童・生徒数が大きく減っており、小学校では数年後には2学年の児童でクラス編制する「複式学級」も検討しなくてはならない状況です。子どもたちの健やかな成長のためには、たくさんのクラスメイトと切磋琢磨できる教育環境がとても大切だと考えています。

令和3年9月には、市の諮問機関である「結城市学校適正配置等検討委員会」から、「絹川・江川北・江川南・山川・上山川の5つの小学校を統合し、新たな小学校と結城南中学校との小中一貫教育を推進することが望ましい」との中間報告が出されました。

その場合、教育や文化の発信に力を入れた「文教エリア」として特色ある教育を取り入れ、子育て世代に選ばれるような学校にしたいと考えています。

その大きな柱の一つに「特色ある音楽教育」を据えたいと思っており、小さいころから本物の音楽に触れる機会をつくり、人間性豊かな子どもが育つ教育環境を整えたいと考えています。

宮本 ピアノなどの楽器で音楽を習うことは、脳全体が活性化して、学力向上や心の安定につながるとい調査結果がいくつもあります。特に、10歳ごろまでは脳の発達が著しいので、幼少期から音楽を中心とした“五感”で感じる教育が

受けられるのは、とても素晴らしいことだと思います。

もしそうなったら、私もお手伝いして、国内トップレベルの演奏家たちを結城に呼んで、プロに教えてもらう機会も作れると思います。例えば、年に数回でも必ずトップレベルの先生が授業をして、その間は下館工業高校の生徒をはじめとした近隣の先輩が教えに来てくれるような環境があると、地域全体でレベルアップできますね。

その子どもたちの発表の場として、結城ジャズフェスティバルなどを活用するのも素晴らしいですね。

市長 教わる側と教える側を両方経験できるのは、人間関係の構築や人格形成にもすごく役立つでしょうし、「だれかの役にたった」という充実感も得られるでしょうね。

渡邊 実はいま、少子化の影響もあり、小学校の金管バンドが軒並みなくなっているんです。中学校でも、吹奏楽など部活を成り立たせるために必死で部員を集めているような状況です。

その中で何か音楽をしたいと思ったときに、ジャズのビッグバンドは最低17人いれば成り立つので、意外とやりやすいです。コンボという少人数編成なら、数人いれば成り立ちますので。

市長 やはり少子化の影響は大きく、今回の学校再編構想も、統合時は人数が確保できてもいずれ先細りになるのは否めません。近い将来にまた統合の話をするということにもなりかねない。

そうならないためにも、学校再編の話にとどまらず、都市計画の見直しなどを含めて「文教都市・結城」づくりを一体的に進め、子育て世代にとって魅力あるまちづくりをしなければならぬと考えています。

まちづくりは「人づくり」ですから、まずは子どもたちの教育に力を入れて、それに魅力を感じてさらに人が集まるような良い循環をつくりたいですね。

渡邊 まちづくりは一朝一夕にできるものではないですし、音楽教育がしっかり地域に根付くためには、5年10年と長い目線で見えていく必要がありますね。

あと、学校現場の立場からすると、一概に「音楽の先生」といっても専攻分野はさまざまなので、皆がみな、ジャズを教えられるわけではありません。普段子どもたちの指導をだれがするのか、それが一番の課題かなと思います。最近は、部活指導を外部委託することもあります。それでも人材を確保できるかは未知数です。

例えばスポーツ少年団のような形にして、保護者が運営を担い、そこに外部指導者が定期的に出向くような形もありますね。もし、素晴らしい音楽教育環境を整えば、それこそ指導者側も「結城に教えに行きたい！」という人が集まるのではないのでしょうか。

市長 「人材確保」が一番の課題ということですね。あと、楽器の確保も簡単ではありません。最近では、不要となった楽器を寄附してもらい、査定価格を税控除するという新しいスタイルのふるさと

令和4年
新春座談会



宮本さん(国立音楽大学)と渡邊さん(下館工業高校)の実際の指導の様子が動画で見られます!



納税をしている自治体もあり、素晴らしい取組だと思います。



小学生のころから「音楽を習う」という選択肢があるといい!

どに演奏家が使えればとても喜ばれると思いますし、駆け出しの若手演奏家はこぞって結城を目指すようになるかもしれませんね。

渡邊 僕も小学生からトランペットをやっている、その経験がずっと生きています。いまは地域のピアノ教室なども減っているようですが、小学生の段階で「音楽を習う」という選択肢をつくってあげることが、音楽のすそ野を広げるためにも非常に大切ですね。

その先に、子どもたちの目指す目標として結城ジャズフェスティバルがあると、すごくいい刺激になると思います。

市長 学校再編については、ハード面・ソフト面ともにまだまだ解決しなければならない課題があります。結城の子どもたちが心豊かに成長していけるよう、市民の皆さん、そして音楽関係者の皆さんにもご協力をいただきながら、着実に進めてまいりたいと思います。

結城市学校適正配置等に関する提言(案)

●当内容は「結城市学校適正配置等検討委員会」がとりまとめた令和3年9月時点の中間報告の内容であり、最終的な決定内容ではありません。詳細は市ホームページをご覧ください。



問 市学校教育課 学校再編係 ☎34-0376

1 結城南中学校区の適正規模化

○絹川・江川北・江川南・山川・上山川の5つの小学校について、**結城南中学校との小中一貫教育に適した位置に統合校を新設し**、小中一貫教育を推進することが望ましい。

○通学にはスクールバスを導入した上で、令和8年度に開校できることが望ましい。

2 結城中学校区・結城東中学校区の学区再編

3 結城南中学校区・結城東中学校区の学区再編

4 結城中学校区の適正規模化

(7ページに続く)

令和4年新春座談会「音楽の響くまち」 参加者の意見まとめ

- 結城ジャズフェスティバルは、まち全体を会場に活用したり、地域の若者を運営に巻き込むなど、**市民主体で盛り上がりやすいイベント**に!
- 小中学校からの特色ある音楽教育は、一流演奏家から地域の音楽経験者まで人材をフル活用し、**豊かな心が育まれる教育環境**を!

▶▶▶ 結城ファンを増やし、人々から選ばれる結城市へ!